

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	都市景観形成事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成11年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	04快適なまち	政策	02安全で快適な暮らしの基盤を整備する
	施策	01秩序あるまちなみの形成		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市内で大規模な建築物や工作物等を建築(新・増・改築)しようとする者、景観まちづくりを推進する団体		
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	ゆとりとやすらぎのある良好な景観の形成を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	加古川市景観まちづくり条例に基づく、公共事業等の景観形成に関する協議、大規模建築物等の届出に係る助言・指導、景観まちづくりを推進する団体等への支援を実施する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	2,806 千円	2,728 千円	2,755 千円
うち、一般財源	2,806 千円	2,728 千円	2,755 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
加古川市景観まちづくり条例に基づく協議書審査件数	件	3	3	8		
加古川市景観まちづくり条例に基づく届出書審査件数	件	53	13	31		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
景観やまちなみの美しさに関する市民の満足割合	%	46.6	48.0	53.9	令和8年度	58.0

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
	加古川市景観まちづくり条例に基づく、景観形成地区内行為や大規模建築物等の届出に係る助言・指導により、景観に配慮された、うるおいとやすらぎのある美しいまちづくりの推進を図った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	住民主体で実施する景観まちづくりとともに、大規模建築物等の景観形成誘導により、良好な景観形成と住環境の整備を図った。
今後の展開	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	加古川駅周辺賑わい創出事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	加古川駅周辺再整備推進課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和6年度	—	⑥市施策事業(臨時)		
総合計画	基本目標	04快適なまち	政策	01機能的・効率的なまちを形成する
	施策	02都市拠点機能の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	加古川駅周辺地区	1 (R7.4.1時点)	地区
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	加古川駅周辺(以下「駅周辺」)の回遊性の向上、滞在人口の増加、さらなる賑わいの創出を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	「加古川駅周辺地区まちづくり構想」「JR加古川駅周辺まちづくり(案)」に基づき、加古川駅周辺の再整備を進め、利便性と快適さを兼ね備えた、賑わいと魅力あふれるまちづくりを進める。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	0 千円	0 千円	22,398 千円
うち、一般財源	0 千円	0 千円	18,731 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
駅周辺公共空間を活用したイベント実施数	件	—	—	39		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
加古川駅周辺の都心としての魅力に満足している市民の割合	%	36.5	35.7	40.5	令和8年度	60.0

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	□拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
	令和6年度は、駅周辺再整備基本計画の策定に向けて、公共施設整備基本方針の検討やまちづくり検討会を中心とした具体的な検討を進めるとともに、再整備までの駅周辺の賑わいづくりや今後の空間づくりの検討に向けて、公共空間の利活用や駅南広場のミニリノベーションや社会実験等を行った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	本市の玄関口、顔となる駅周辺のまちづくりについては、立地特性を生かした再整備に向けて、再整備までの駅周辺の賑わいの維持や市民の機運を高めるため、継続して社会実験の実施や駅南広場のスモールリノベーションの検討を行う。よって、現在の取組方針を維持する。
今後の展開	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	加古川駅周辺地区まちづくり推進事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	加古川駅周辺再整備推進課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和2年度	—	⑥市施策事業(臨時)	  	
総合計画	基本目標	04快適なまち	政策	01機能的・効率的なまちを形成する
	施策	02都市拠点機能の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	加古川駅周辺地区	1 (R7.4.1時点)	地区
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	加古川駅周辺の回遊性の向上、滞在人口の増加、さらなる賑わいの創出を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	「加古川駅周辺地区まちづくり構想」「JR加古川駅周辺まちづくり(案)」に基づき、加古川駅周辺の再整備を進め、利便性と快適さを兼ね備えた、賑わいと魅力あふれるまちづくりを進める。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	7,909 千円	16,119 千円	56,746 千円
うち、一般財源	3,955 千円	9,561 千円	54,788 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
検討支援業務等契約状況	件	1	1	1		
まちづくり検討会開催件数	回	0	2	7		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
加古川駅周辺の都心としての魅力に満足している市民の割合	%	36.5	35.7	40.5	令和8年度	60.0

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 令和6年度は、加古川駅周辺再整備基本計画策定等業務を発注し、プロポーザル方式により契約候補者を選定し、委託契約を締結した。また、加古川駅周辺における人中心の空間と賑わいの創出に向けて、有識者等関係者の意見を聴取し検討するため検討会等を開催した。
--------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	本市の玄関口、顔となるJR加古川駅周辺のまちづくりについては、加古川市総合計画、都市計画マスタープラン等に掲げるとおり、市として取り組むべき重要施策である。については、「JR加古川駅周辺まちづくり(案)」「加古川駅周辺エリアビジョン(案)」に基づき、継続して駅南北の一体的な再整備を目指すとともに、かわまちづくりなどと連携したウォーカブルなまちづくりを進める。よって、現在の取組方針を維持する。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	中心市街地整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成30年度	令和11年度	⑦投資事業	 	
総合計画	基本目標	04快適なまち	政策	01機能的・効率的なまちを形成する
	施策	02都市拠点機能の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	加古川町篠原町および寺家町地区内(5.4ha) の権利者と居住者	3,460 (R7. 3. 31時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	加古川駅南西地区における防災機能の確保と土地の合理的かつ健全な利用を図り、都心にふさわしい賑わいと住環境の創出を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	住宅市街地総合整備事業により防災道路を小門口交差点まで延伸し、加古川駅南西地区の防災性と回遊性の向上を図ります。また、交通集中による混雑を緩和するため本町河原線(JR高架部)の暫定整備を行います。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	10,632 千円	18,487 千円	127,965 千円
うち、一般財源	10,632 千円	18,487 千円	10,295 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
用地買収件数	件	0	0	4		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
事業進捗率	%	1	2	21	令和11年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	令和5年度に実施した用地測量および物件調査の成果を踏まえ、筆界の確定と用地の交渉を進めた結果、2物件の移転が完了。また、本町河原線暫定整備部においては、JRとの協議を継続するとともに、道路の詳細設計を実施した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	令和11年度の完成を目指すことから、継続的に事業を維持していくことが適当と判断する。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	加古川駅等周辺整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和6年度	令和6年度	⑦投資事業	 	
総合計画	基本目標	04快適なまち	政策	01機能的・効率的なまちを形成する
	施策	02都市拠点機能の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	都市計画道路宝殿荒井線	約100 (R7. 3. 31時点)	m
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	都市計画道路宝殿荒井線を拡幅し、歩行者の安全と車両のスムーズな通行が可能な道路整備を目指す。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	将来の道路整備に資するため、現時点で取得可能な用地を確定するための測量・登記を実施する。		

【コスト】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度(決算見込)
事業費合計	－ 千円	－ 千円	1,993 千円
うち、一般財源	－ 千円	－ 千円	1,993 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
用地測量	件	－	－	1		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
事業進捗率	%	－	－	100	令和6年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 数年前から事業用地所有者と交渉を継続し、令和6年度は用地を確定するための測量を実施した。その結果、現時点で取得可能な道路用地を確保する準備ができ、道路拡幅工事実施時に事業の進捗に寄与することが可能となった。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	数年前に着手する道路整備のための用地を確保する準備ができたため、事業は完了とする。
今後の展開	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	加古川駅北土地区画整理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成5年度	令和8年度	⑦投資事業	 	
総合計画	基本目標	04快適なまち	政策	01機能的・効率的なまちを形成する
	施策	02都市拠点機能の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	東播都市計画事業加古川駅北土地区画整理事業 施行区域	24.6 (R7. 3. 31時点)	ha
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	都市機能(生活環境・利便性・防災性)の充実を図ることにより、健全な市街地を形成する。都市計画道路・駅北広場・区画道路が整備されることにより、交通の利便性及び安全性の向上に繋がる。また、道路・公園が整備されることにより、居住環境及び防災性の向上が見込まれる。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	土地区画整理事業計画書に基づき、整備計画を立て進捗を図る。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	33,855 千円	19,266 千円	26,147 千円
うち、一般財源	33,855 千円	19,266 千円	14,803 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
物件移転補償件数(累計)	件	417	417	417		
道路築造工事延長(累計)	m	7,123	7,123	7,144		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
物件移転率	%	99.4	99.4	99.4	令和8年度	100
道路整備率	%	98.2	98.2	98.5	令和8年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	令和5年度の評価結果は維持であった。物件移転補償については進捗がなかったが、条件が整った部分の道路整備を行い、道路整備率が微増した。また、駅北広場と河川敷とを結ぶアクセス道路となる区画道路1号線の整備に着手した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	現事業計画に基づき完成を目指すことから、継続的に事業を維持していくことが適当と判断する。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	三木鉄道跡地整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和4年度	令和15年度	⑦投資事業	  	
総合計画	基本目標	04快適なまち	政策	01機能的・効率的なまちを形成する
	施策	02都市拠点機能の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	平成20年4月に廃線となった三木鉄道の跡地	約1,600 (R7. 3. 31時点)	m
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	地域に相応しい施設に整備する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	地元町内会や関係機関と協議や調整をしながら、整備の方向性を決定する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	8,127 千円	0 千円	37,037 千円
うち、一般財源	8,127 千円	0 千円	12,837 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
道路整備延長(累計)	m	0	0	0		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
事業進捗率	%	2	6	10	令和15年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	令和5年度の維持評価をもとに、令和6年度は地元の意向を反映した自転車・歩行者道路の整備に着手した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	地域住民との連携のもと、廃線跡地を地域にふさわしい施設として整備するという目的を踏まえ、本事業を継続することが適切と判断する。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	志方中央土地区画整理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑦投資事業	  	
総合計画	基本目標	04快適なまち	政策	02安全で快適な暮らしの基盤を整備する
	施策	01計画的な土地利用		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	志方中央地区	17.5 (R7. 3. 31時点)	ha
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	志方中央地区について、雇用の創出が期待できる産業用地への土地利用転換を進め、志方地域等を活性化させる。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	産業用地創出に向け、周辺住民等も含めた地権者との合意形成を図り、土地区画整理事業地内の現況測量・地区境界測量や、その結果をもとに基本設計等を実施する。また、(都)原投松線の整備に向けて、関係者との協議を進める。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	0 千円	11,739 千円	10,495 千円
うち、一般財源	0 千円	11,739 千円	10,144 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
住民説明会	回	0	3	5		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
都市計画決定	地区	0	0	0	令和8年度	1

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
	令和5年度の維持評価を受け、令和6年度は事業化アドバイザーを募集した。今後の進め方等について、まちづくり協議会と4回の協議、及び地権者対象に1回の説明会を実施し、令和7年1月にアドバイザー・まちづくり協議会の3者と覚書を締結した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	当初の予定どおりアドバイザーを選定できた。今後は令和8年度中に予定している組合の設立、及び都市計画の変更に向け事業を進捗させるため、このまま維持するものとする。
今後の展開	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	間形土地区画整理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和4年度	令和9年度	⑦投資事業	  	
総合計画	基本目標	04快適なまち	政策	02安全で快適な暮らしの基盤を整備する
	施策	01秩序あるまちなみの形成		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	施行予定区域内の権利者および近隣住民	33 (R7. 3. 31時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	秩序ある市街地を形成する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	土地区画整理事業の実施に必要な技術援助と助成を行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	60,300 千円	14,950 千円	69,152 千円
うち、一般財源	60,300 千円	14,950 千円	69,152 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
助成額(累計)	千円	60,300	14,950	69,152		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
事業進捗率	%	25	38	73	令和9年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
	維持との評価にもとづき、令和6年度も土地区画整理事業助成要綱に基づき道路用地費の一部を助成した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	助成要綱に基づく財政的支援や、市職員による技術援助を実施し、現事業計画に基づき完成を目指すことから、継続的に事業を維持していくことが適当と判断する。
今後の展開	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	市街化調整区域のまちづくり支援事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	まちづくり指導課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成18年度	—	⑥市施策事業(臨時)		
総合計画	基本目標	04快適なまち	政策	01機能的・効率的なまちを形成する
	施策	01計画的な土地利用		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市北部に位置する志方町・平荘町・上荘町・八幡町の地元住民・土地利用	57 (R7. 3. 31時点)	地区
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	対象地区の住民自らが地区の現状や課題について考えることにより、地域力の向上と住民同士の繋がりが築かれる。また、特別指定区域の指定により、住宅等の建築が促進され、集落のコミュニティの維持と活性化を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	まちづくり協議会に対し、委託により専門家を派遣し、地区の将来構想と土地利用計画を定めた「地区まちづくり計画」の策定や、地域に必要な建築物を建てることができる「特別指定区域」の指定の支援を行う。また、住宅団地開発のモデル事業を行い、その情報を発信することで北部4町への移住を促進する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	19,824 千円	27,177 千円	58,009 千円
うち、一般財源	19,824 千円	27,177 千円	31,867 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
1地区当たりの協議会開催回数	回	5	5	5		
1地区当たりの意向調査等実施回数	回	1	1	1		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
特別指定区域指定地区数	地区	38	40	42	令和8年度	46
田園まちづくり制度による年度毎の建築件数	件	12	14	14	令和8年度	7

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 移住・定住の促進に向けた助成制度により、北部4町への移住の支援を行った。さらに、住宅団地開発モデル事業(住宅団地開発・公園整備)を実施し、情報発信を行った。また、田園まちづくり制度における、特別指定区域を2地区(永室、山角)指定した。
--------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	当事業による住民主体のまちづくり支援は、住民のニーズを把握し、適正で計画的な土地利用を図るなど、市民と行政の「協働」による地域の課題解決に向けた取組みであり、総合計画など市施策への貢献度は大きいと考える。また、市北部の集落地区における市民の生活や事業環境を守る重要な役割を担っており、継続的に事業を維持していくことが適当と判断する。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	住宅耐震化等促進事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	建築指導課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成24年度	令和7年度	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	04快適なまち	政策	02安全で快適な暮らしの基盤を整備する
	施策	02防災・防犯のための基盤の整備		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	昭和56年5月31日以前(旧耐震基準)に建築された耐震性が低い住宅	15,368 (R7.1.1時点)	戸
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	令和7年度に住宅の耐震化率を97%の状態にする。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	国・県の補助金を活用し、所有者が行う耐震改修工事等に補助金を助成する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	6,039 千円	3,249 千円	7,378 千円
うち、一般財源	4,065 千円	900 千円	4,845 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
住宅耐震化等促進事業補助件数	件	11	8	14		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
市内住宅の耐震化率	%	86.8	87.3	87.6	令和7年度	97

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	耐震化率の向上を図るため、耐震化の必要性や補助制度の普及啓発を行いながら事業に取り組んだ。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	平成28年度に改定した耐震改修促進計画では、令和7年度末の住宅の耐震化率の目標は97%としているが、令和6年度末の耐震化率は87.6%であった。目標達成に向け、より効果的な普及啓発を行いながら事業を継続する。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	吹付アスベスト調査費補助事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	建築指導課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和3年度	令和8年度	⑥市施策事業(臨時)		
総合計画	基本目標	04快適なまち	政策	02安全で快適な暮らしの基盤を整備する
	施策	02防災・防犯のための基盤の整備		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	加古川市内に存する建築物で、吹付アスベストの使用の恐れのある建築物	115 (R7.4.1時点)	戸
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	建築物に吹付けされた、吹付アスベストの飛散による市民の健康被害を予防し、安全な生活基盤の整備を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	対象建築物の所有者等が実施する、吹付アスベスト含有調査費用に対して、国の補助金を活用して助成する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	230 千円	500 千円	120 千円
うち、一般財源	0 千円	0 千円	0 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
アスベスト調査補助件数	件	2	2	1		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
年間アスベスト含有無判明、又は工事完了済件数	件	5	37	9	令和8年度	20

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	吹付アスベストの除去・封じ込めの促進を図るため、吹付アスベスト除去等の必要性や吹付アスベスト調査補助制度の普及啓発を行いながら事業に取り組み、令和6年度は1件の吹付アスベスト調査補助事業を行った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	吹付アスベストの除去等の推進をさらに図るため、より積極的な啓発・指導を行いながら事業を継続する。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	南備後市営住宅整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	住宅政策課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和5年度	令和8年度	⑦投資事業	      	
総合計画	基本目標	04快適なまち	政策	02安全で快適な暮らしの基盤を整備する
	施策	04良質な住宅供給の促進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	南備後住宅	40 (R7. 3. 31時点)	戸
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	住宅の長寿命化と入居者の生活環境の改善を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	・外壁改修及び屋上防水、排水管の更新などの長寿命化を図る工事を実施する。 ・給湯設備の設置等による居住性の向上を図る工事を実施する。 ・児童遊園等の外構工事を実施する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	－ 千円	15,873 千円	68,200 千円
うち、一般財源	－ 千円	7,936 千円	8 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
設計実施戸数	件	－	0	40		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
長寿命化工事実施戸数	戸	0	0	20	令和8年度	40

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 南備後市営住宅について、令和5年度に大規模改修工事の設計及び石綿含有等調査を行い、令和6年度の着工に向けた準備を行うことができた。その調査・設計をもとに令和6年度から大規模改修工事を実施している。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	大規模改修工事の令和8年度完成に向け、令和6年度から3か年の継続費予算を設定し、工事を実施している。住みながらの大規模改修が初めての試みであるが、入居者の協力を得ながら工事を実施し、2号棟については改修は完了している。残る1号棟と外構についても住宅の長寿命化と入居者の生活環境の改善を図るため、引き続き事業を維持する必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	老朽危険空き家等対策事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	住宅政策課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成28年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	04快適なまち	政策	02安全で快適な暮らしの基盤を整備する
	施策	04良質な住宅供給の促進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市内に存する管理不全な状態となった空家等又はそのおそれのある空家等
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	空家等が管理不全な状態となることを防止し、又はその状態から改善し、地域住民の安全で安心な暮らしの確保に寄与する。
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	対象の所有者又は管理者に対して適正な管理を促す。

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	10,269 千円	4,029 千円	1,438 千円
うち、一般財源	10,247 千円	3,262 千円	1,385 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
空家等年間調査件数(新規分)	件	82	108	98		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
空家等年間是正件数	件	99	72	69	令和8年度	60

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 所有者が不確知の老朽危険空き家に対する相続財産清算人の申立を1件行い、売却処分することができた。また、管理不全空家等・特定空家等の認定基準について、これまでの「保安上危険」に「衛生上有害」「生活環境の保全」を加えた。
--------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	今後、空き家問題がますます深刻化することが予測されるため、平成30年3月に策定した「空家等対策計画」に基づき、今後も様々な施策を実施していく必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市上下水道局事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事業名	職員研修事業	部局名	上下水道局
		課 名	経営管理課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—		
ビジョン	方針	03信頼される健全な経営	目標 01持続可能な経営
	施策	03人材の育成・確保	

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	上下水道局職員	92 (R7. 3. 31時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	多様化する住民のニーズ・行政課題に対応できる能力・資質を備えた職員を育成し、経験豊富なベテラン職員が退職により減少していく状況においても、職員の知識・技術を常に一定以上保ち、質の高いサービスの提供を可能とする。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	経験年数等により必要とされる能力に応じた研修を受講して知識・専門技術等を身に付けることができるよう、外部機関(公益社団法人日本水道協会、日本下水道協会等)が実施する研修へ計画的に職員を派遣し育成する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	5,273 千円	5,151 千円	3,844 千円
うち、一般財源	5,273 千円	5,151 千円	3,844 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
派遣研修受講者数(水道)	人	63	68	64		
派遣研修受講者数(下水道)	人	38	39	38		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
1人当たりの外部研修時間(水道)	時間	13.6	13.6	13.0	令和8年度	18
1人当たりの外部研修時間(下水道)	時間	13.5	15.5	11.3	令和8年度	18

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び取組コメント	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	職員の知識・技術を常に一定以上保ち、質の高いサービスの提供を可能とするため、外部機関が実施する研修への計画的な職員派遣を継続して行っているが、人事異動に伴う職員の入れ替わりが少なかったことで、新たに研修へ参加する職員が減少する結果となった。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	経験豊富なベテラン職員が退職により減少している中、多様化する住民のニーズ・行政課題に対応できる能力・資質を備えた職員を育成するため、外部機関が実施する研修への計画的な職員の派遣を継続する。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市上下水道局事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事業名	広報PR事業	部局名	上下水道局
		課 名	経営管理課

【基本情報】

事業開始年度		完了(予定)年度		事務事業に関連の深いSDGs	
—		—			
ビジョン	方針	03信頼される健全な経営		目標	02お客さまとのコミュニケーション
	施策	02広報活動の充実			

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	上下水道利用者	228,502 (R7. 3. 31時点)	件
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	上下水道局独自のホームページや広報紙等を活用して情報を発信し、上下水道に関する理解を深めていただくことによって上下水道利用者との良好な信頼関係を構築する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	・ホームページや広報紙を通じ、必要な情報を発信する。 ・施設見学等を実施し、上下水道事業への理解の促進を図る。 ・オリジナルグッズやマンホールカード等を製作し、上下水道局への親しみを通じて上下水道利用者との信頼関係の構築を図る。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	10,292 千円	3,980 千円	3,850 千円
うち、一般財源	10,292 千円	3,980 千円	3,850 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
かこ水だより発行回数	回	2	2	2		
施設見学者数	人	2,165	1,720	1,556		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
水道水の供給に関して満足している市民の割合	%	75.8	78.5	78.1	令和8年度	80.0
下水道の整備に関して満足している市民の割合	%	73.5	78.9	80.5	令和8年度	80.0

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び取組コメント	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	天候不良のため中西条浄水場市民見学会は実施できなかったが、広報紙(かこ水だより)の発行や小学生対象の施設見学を通じて、情報発信を行った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	広報紙(かこ水だより)の発行や施設見学を通じて、情報発信を行うことができた。これらについては今後も継続するとともに、将来にわたって上下水道事業を健全に経営していくための課題や経営状況等に関する利用者の理解を促すため、新たな周知方法を検討し、実施していく。
今後の展開	☒ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市上下水道局事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事業名	水道料金収納事業	部局名	上下水道局
		課 名	お客さまサービス課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事務事業に関連の深いSDGs	
-	-		
ビジョン	方針	03信頼される健全な経営	目標 01持続可能な経営
	施策	02経営基盤の強化	

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	水道の利用者	707,419 (R7.3.31時点)	件
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	経営の根幹をなす水道料金を、納期内に着実に徴収することにより、安定した経営を図る。また、支払い方法の多様化を図ること、お客さまの利便性を向上させるとともに、未納料金については、債権回収を強化し、お客さま間の公平性を確保する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	水道料金の収納については、口座振替、コンビニ収納、キャッシュレス決済や金融機関の窓口等で納付できるよう、納付しやすい環境整備を行っている。納期内に納付されない者に対しては、文書、電話、外勤徴収等による督促や催告を行うとともに、2期以上の滞納者については、給水停止等の実効性のある方法も取り入れ収納率の向上に取り組んでいる。窓口や料金等の業務においては、窓口を一元化した水道お客さまセンターを開設し、運営を民間事業者へ委託することにより、民間の優れたノウハウの活用と、事業の効率的な運営を図っている。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	280,450 千円	299,679 千円	296,074 千円
うち、一般財源	280,450 千円	299,679 千円	296,074 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
水道料金収納済額	千円	3,992,158	3,941,770	3,800,542		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
収納率(現年)※3月末	%	91.2	91.0	90.8	令和6年度	91.1
収納率(過年)※3月末	%	94.5	94.1	93.7	令和6年度	94.1

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び取組コメント	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	収納率の向上および未収金の発生抑止を目的として、納付書で納付をしている水道利用者に対して、口座振替を推奨する案内チラシを送付した。また、電話督促・文書催告・外勤徴収等による滞納整理について、継続的に取り組んだ。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	口座振替やコンビニ収納、キャッシュレス決済による納付等、納期内納付が行える環境を整備している。 引き続き、納付の利便性の向上を図るとともに、督促後も納付がない滞納者については、文書・電話等により速やかに接触を図り、納付を促すことで、未収金の抑制と早期回収に取り組む。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市上下水道局事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事業名	水洗便所普及奨励事業	部局名	上下水道局
		課 名	お客さまサービス課

【基本情報】

事業開始年度		完了(予定)年度		事務事業に関連の深いSDGs	
-		-		 	
ビジョン	方針	01快適な生活環境の創出		目標	02良質な水環境の確保
	施策	01未整備地域の早期解消			

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	下水道整備区域及び農業集落排水区域内の未水洗化世帯及び事業所	234,990 (R7. 3. 31時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	下水道整備区域及び農業集落排水区域内の未水洗化世帯等が下水道へ接続する状態にする。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	・未水洗化世帯等に対し戸別訪問を実施し、水洗化を促す。 ・早期(供用開始から3年以内)の接続世帯に対し、水洗化助成金、宅内排水ポンプ設置補助金及び私道内共同排水設備設置補助金を交付する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	4,891 千円	5,721 千円	4,709 千円
うち、一般財源	3,891 千円	4,721 千円	3,709 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
水洗便所設備助成金交付件数	件	104	116	114		
未水洗家屋戸別訪問件数	件	1,151	1,143	1,143		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
水洗化率	%	96.6	96.9	97.0	令和10年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び取組コメント	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	水洗化助成金の交付や未水洗家屋への戸別訪問、下水道への接続を案内するチラシの送付などにより水洗化を促した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	水洗化率は毎年着実に伸びている。 引き続き、水洗化助成金の交付や未水洗家屋への戸別訪問、下水道への接続を案内するチラシの送付などにより水洗化を促す。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市上下水道局事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事業名	水洗便所改造資金貸付融資事業	部局名	上下水道局
		課 名	お客さまサービス課

【基本情報】

事業開始年度		完了(予定)年度		事務事業に関連の深いSDGs	
-		-			
ビジョン	方針	01快適な生活環境の創出		目標	02良質な水環境の確保
	施策	01未整備地域の早期解消			

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	下水道整備区域内及び農業集落排水区域内の未水洗化世帯	234,990 (R7. 3. 31時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	下水道整備区域及び農業集落排水区域内の未水洗化世帯が下水道へ接続する状態にする。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	金融機関に資金を預託し、下水道接続工事に係る費用の融資を希望する方にあっせんを行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	6,000 千円	5,800 千円	6,200 千円
うち、一般財源	6,000 千円	5,800 千円	6,200 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
融資あっせん件数	件	0	0	0		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
水洗化率	%	96.6	96.9	97.0	令和10年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び取組コメント	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	融資実行は0件だったが、下水道法に基づく水洗化の促進に必要な制度として継続している。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	助成金及び補助金の交付や下水道に関するPRなどと合わせて実施することで水洗化の促進に努める。 また、申込み件数や金融機関での融資残高を勘案し、預託金額の見直しを検討する。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市上下水道局事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事業名	使用料徴収事業	部局名	上下水道局
		課 名	お客さまサービス課

【基本情報】

事業開始年度		完了(予定)年度		事務事業に関連の深いSDGs	
-		-			
ビジョン	方針	03信頼される健全な経営		目標	01下水道普及率の向上
	施策	02経営基盤の強化			

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	公共下水道、農業集落排水処理施設の使用者	120,321 (R7. 3. 31時点)	件
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	経営の根幹をなす下水道使用料を、納期内に着実に徴収することにより、安定した経営を図る。また、支払い方法の多様化を図ることで、お客さまの利便性を向上させる。未納使用料については、債権回収を強化し、お客さま間の公平性を確保する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	下水道使用料(公共・農集)については、水道料金と併せて使用者から徴収している。下水道使用料の収納については、口座振替、コンビニ収納、キャッシュレス決済や金融機関の窓口等で納付できるよう、納付しやすい環境整備を行っている。納期内に納付されない者に対しては、文書、電話、外勤徴収等による収納業務を行うとともに、水道料金と併せて徴収していることから、2期以上の滞納者については、給水停止等の実効性のある方法も取り入れ収納率の向上を図っている。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	213,589 千円	192,594 千円	195,658 千円
うち、一般財源	213,589 千円	192,594 千円	195,658 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
下水道使用料収納済額	千円	3,275,430	3,250,242	3,270,523		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
収納率(現年)※3月末	%	91.3	91.0	91.3	令和6年度	91.1
収納率(過年)※3月末	%	94.7	95.3	95.0	令和6年度	95.4

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び取組コメント	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	滞納者に対しては、早期の電話督促、文書催告、外勤徴収等を実施するとともに、水道料金と併せて徴収していることから、2期以上の滞納者については、給水停止等の実効性のある方法も取り入れ、未収金の抑制・滞納解消に取り組んだ。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	☐ 口座振替やコンビニ収納、キャッシュレス決済による納付等、納期内納付が行える環境を整備している。 引き続き、納付の利便性の向上を図るとともに、督促後も納付がない滞納者については、文書・電話等により速やかに接触を図り、納付を促すことで、未収金の抑制と早期回収に取り組む。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市上下水道局事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事業名	公共下水道受益者負担金徴収事業	部局名	上下水道局
		課 名	お客さまサービス課

【基本情報】

事業開始年度		完了(予定)年度		事務事業に関連の深いSDGs	
-		-			
ビジョン	方針	03信頼される健全な経営		目標	01下水道普及率の向上
	施策	02経営基盤の強化			

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	受益者負担金を賦課した人や事業所(土地所有者)	1,133 (R7. 3. 31時点)	件
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	受益者負担金を賦課した人や事業所(土地所有者)が納期限内に完納する状態にする。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	加古川市下水道事業受益者負担に関する条例に基づき、受益者負担金を賦課徴収する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	13,475 千円	3,686 千円	3,368 千円
うち、一般財源	13,475 千円	3,686 千円	3,368 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
調定件数	件	987	1,089	1,133		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
収納率	%	97.8	96.9	95.4	令和6年度	97.0

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び取組コメント	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	年度間の徴収金額に増減はあるが、引き続き外勤徴収及び電話督促、催告書発送を行い収納率の向上に取り組んだ。また、口座振替加入率向上のため、口座振替の推奨を行った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	整備区域が市街化調整区域に移行したことに伴い、賦課の対象となる戸建ての敷地面積は増加傾向にある。中には受益者負担金額が高額になるケースもあり、収納率は微減している。 引き続き、収納率の維持・向上を図るため、口座振替の推奨を進めるとともに滞納者への早期接触による徴収強化を行う。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市上下水道局事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事業名	水質検査機器更新事業	部局名	上下水道局
		課 名	施設課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度		事務事業に関連の深いSDGs	
-	-			
ビジョン	方針	01安全で良質な水道水の供給	目標	01安全・安心な水づくり
	施策	02水質検査体制の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	水質検査機器		
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	・水質基準項目(51項目)及びクリプトスポリジウム・ジアルジアの検査項目を自己分析できる検査体制の構築及び維持を図る ・水質検査を迅速に対応できる状態にする ・浄水場や他の水源地の水質検査情報を長期的な視点で把握し、水道水の安定供給を図る		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	・水質検査に必要な水質検査機器と業務量を把握する。 ・水質検査機器を用いた検査の正確性・信頼性を確保するため、法定耐用年数を基本とし計画的に更新する ・効率的な水質検査が行えるよう、更新時には適切な機器を選定する		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	13,781 千円	29,513 千円	36,949 千円
うち、一般財源	13,781 千円	29,513 千円	36,949 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
更新台数	台	3	3	4		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
検査可能項目(農薬)	項目	88	90	90	令和10年度	95
検査可能項目(その他)	項目	0	0	0	令和10年度	2

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び取組コメント	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
	令和5年度はイオンクロマトグラフ分析装置、色度濁度計を更新したことにより、当該検査機器による検査項目の分析精度を維持することができた。引き続き、水質検査機器の維持管理、更新及び充実を図る。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	令和6年度は、2台目の液体クロマトグラフ質量分析装置を購入したため、令和8年度改正予定である有機フッ素化合物に対応できる検査体制を整えることができた。今後は異臭味の原因であるカビ臭物質の上昇を早期に発見できる検査体制の検討が必要である。
今後の展開	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市上下水道局事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事業名	水源地、配水池整備事業	部局名	上下水道局
		課 名	施設課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事務事業に関連の深いSDGs	
平成18年度	令和17年度	 	
ビジョン	方針	02危機に強く安定供給ができる水道の構築	目標
	施策	01浄水場・水源地の更新・耐震化 02配水施設等の更新・耐震化	01施設の更新・耐震化

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	中西条浄水場を除く水源地、配水池、加圧ポンプ場等	16 (R7. 3. 31時点)	施設
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	老朽化施設や耐震性能の劣る施設を整備更新することにより、より安全で安定した水道水の供給を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	加古川市水道施設耐震診断及び基本計画、施設耐震調査・基本計画(その2)に基づき優先度の高い施設から順次整備更新を進める。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	548,949 千円	364,168 千円	586,906 千円
うち、一般財源	278,149 千円	211,768 千円	124,906 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
更新・耐震化が完了した施設数	施設	7	7	8		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
事業進捗率	%	43.8	43.8	50.0	令和17年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び取組コメント	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	令和6年度に福留配水池耐震化更新工事(No.2配水池)が完了し、完了施設数は8/16施設となり、事業進捗率が50%まで上昇した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	令和6年度で事業進捗率が50%まで上昇した。今後も水道施設耐震基本計画等に基づき優先度の高い施設から順次整備更新を進める。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市上下水道局事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事業名	基幹管路更新事業	部局名	上下水道局
		課 名	配水課

【基本情報】

事業開始年度		完了(予定)年度	事務事業に関連の深いSDGs	
—		—	  	
ビジョン	方針	02危機に強く安定供給ができる水道の構築	目標	02管路の更新・耐震化
	施策	01基幹管路の更新・耐震化		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	非耐震基幹管路	63 (R7. 3. 31時点)	Km
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	大規模地震等の災害に対しても安定して供給できるよう、老朽管の布設替に合わせて耐震化を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	「管路老朽管更新(耐震化)計画」に基づき、災害時に市民生活への影響が大きい基幹管路を最優先して耐震化を行う。 城山配水池、福留配水池及びポンプ場からの配水ルートからの更新・耐震化を行う。効率的に更新するために工事は大きなロットでの発注を行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	469,456 千円	915,805 千円	1,174,827 千円
うち、一般財源	227,223 千円	426,539 千円	240,627 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
基幹管路(耐震化)総延長	m	29,199	31,421	35,137		
基幹管路(耐震適合)総延長	m	41,053	43,275	46,991		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
基幹管路耐震化率	%	30.57	32.24	35.73	令和10年度	50
基幹管路耐震適合率(※参考)	%	42.98	44.41	47.79	令和10年度	—

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び取組コメント	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	令和6年度は、城山水足高区配水幹線布設替工事や投松志方町志方配水幹線布設替工事等の継続費工事が完成した。また、既設管の除却延長も進んだことから耐震化率が向上した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	大規模地震などの災害に対しても安定して給水が可能となるように管路の耐震化を図る必要がある。 配水支管更新事業とのバランスを考慮しながらビジョンに掲げている目標達成に向け、引き続き基幹管路更新事業を進める。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市上下水道局事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事業名	配水支管更新事業	部局名	上下水道局
		課 名	配水課

【基本情報】

事業開始年度		完了(予定)年度		事務事業に関連の深いSDGs	
—		—		  	
ビジョン	方針	02危機に強く安定供給ができる水道の構築		目標	02管路の更新・耐震化
	施策	02配水支管の更新・耐震化			

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	非耐震性継手管(ビニール管、ダクトイル鉄管、石綿セメント管、高級鋳鉄管)	718 (R7. 3. 31時点)	Km
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	老朽管や非耐震性継手管を整備更新することで自然災害等による被害を最小限にとどめ、耐震性に優れた水道管路の構築を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	「管路老朽管更新(耐震化)計画」に基づき、避難所・学校・病院など重要な施設への管路、緊急輸送道路に埋設された管路など重要性の高い管路の更新を面的に整備を行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	402,566 千円	505,075 千円	388,832 千円
うち、一般財源	402,566 千円	501,475 千円	388,832 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
配水支管(耐震化)総延長	m	314,950	321,014	334,771		
配水支管(耐震適合)総延長	m	364,934	372,872	389,435		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
配水支管耐震化率	%	30.26	30.72	31.79	令和10年度	31.2
配水支管耐震適合率(※参考)	%	35.07	35.68	36.98	令和10年度	—

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び取組コメント	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	配水支管の耐震化率の目標は早期に達成できているが、継続して重要施設へと繋がる配水支管の耐震化を進める必要がある。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	病院や避難所への管路や緊急輸送道路に埋設された管路など、重要な管路に加え、漏水を引き起こす危険性の高い配水支管も多く残っていることから、引き続き配水支管の管路更新を進める。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市上下水道局事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事業名	配水管整備事業	部局名	上下水道局
		課 名	配水課

【基本情報】

事業開始年度		完了(予定)年度		事務事業に関連の深いSDGs	
—		—		  	
ビジョン	方針	02危機に強く安定供給ができる水道の構築		目標	02管路の更新・耐震化
	施策	02配水支管の更新・耐震化			

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	給水区域内における配水管		
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	給水区域内において、いつでも安定して供給できる水道管路を構築する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	配水管の未整備箇所配水管の整備を行い、安定した水道管路を構築する。道路事業の公共事業にあわせて配水管の整備を行う。主な事業としては、尾上小野線及び神吉中津線道路改良事業に合わせて配水管を整備する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	150,116 千円	296,582 千円	134,911 千円
うち、一般財源	80,016 千円	151,582 千円	65,711 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
配水管整備延長(実績)	m	966	2,444	1,117		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
配水管整備総延長(H28～)	m	3,927	6,371	7488	令和6年度	7,130
配水管整備率	%	55.1	89.4	105	令和6年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び取組コメント	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	尾上小野線や神吉中津線の道路改良事業などに合わせ、配水管布設工事が順次完了し、昨年度は1,117mを整備した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	新設道路の整備に伴い沿線の宅地等への給水サービスや幹線整備を行う重要な事業である。 引き続き、道路事業等に合わせた配水管の整備を進める。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市上下水道局事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事業名	漏水防止対策事業	部局名	上下水道局
		課 名	配水課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事務事業に関連の深いSDGs	
昭和57年度	—		
ビジョン	方針	02危機に強く安定供給ができる水道の構築	目標
	施策	01適正な維持管理	04施設の機能維持

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	配水管延長	1,145 (R7. 3. 31時点)	Km
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	目標有収率を達成することで安定した水道水の供給を図る		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	・漏水防止対策指針の「基礎的対策、対症療法的対策、予防的対策」を一体的に推進する。 ・漏水調査(工法は、リークゾーンテスト、監視型漏水調査、個別音聴調査) ・老朽管の布設替(漏水多発管路等) ・配水管内の水圧の適正化		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	20,278 千円	26,688 千円	16,210 千円
うち、一般財源	20,278 千円	26,688 千円	16,210 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
漏水調査延長	Km	533	523	529		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
有収率	%	93.4	94.1	95.1	令和7年度	95

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び取組コメント	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
	複数年の契約で継続的に漏水調査を行った。調査の結果、漏水箇所の修繕を行うことで有収率が向上した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・ 効率性の視点をもとに、 各部局において総合的に 判断した評価	令和4年、5年度は有収率目標値(95%)を下回っていたが、昨年度は有収率目標値(95%)を上回っている。 引き続き、令和5年度に策定した第13次漏水防止計画に基づいた取組みを着実に進める。
今後の展開	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市上下水道局事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事業名	市街化区域整備事業	部局名	上下水道局
		課 名	下水道課

【基本情報】

事業開始年度		完了(予定)年度		事務事業に関連の深いSDGs	
-		令和7年度		 	
ビジョン	方針	01快適な生活環境の創出		目標	01下水道普及率の向上
	施策	01未整備地域の早期解消			

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	【受益者】市街化区域内で公共下水道が整備されていない路線に面する土地に居住(又は営業)する市民(又は事業者) (R7. 3. 31時点)			1,440 人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	取付管設置後に、受益者による宅内排水設備の新設(改造)工事を行ってもらい、公共下水道を使用できる状態にする。			
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	対象路線に下水道管渠(本線)を埋設し、併せて対象地に対して取付管を設置する。			

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	188,650 千円	198,043 千円	10,184 千円
うち、一般財源	1,350 千円	6,943 千円	0 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
工事発注件数	件	6	3	1		
整備人口	人	16	23	0		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
普及率	%	96.5	96.7	99.3	令和7年度	100.0

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び取組コメント	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	令和6年度の工事発注は1件あるものの、令和7年度への繰越工事となったことにより整備人口の変動は無かった。繰越工事により57人の整備人口増を見込んでいる。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	概ね整備が進んできた中、未整備箇所を特定したことにより、成果指標(普及率)の算定方法について見直しを行った。区域内処理人口を算出する際に、整備人口の積上げにより算出していたが、未整備人口の差引きによる算出に見直したことにより普及率は前年度と比較し2.6ポイント上昇した。未整備区域の解消は着実に進んでおり、引き続き目標値に向けて整備を進める必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市上下水道局事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事業名	市街化調整区域整備事業	部局名	上下水道局
		課 名	下水道課

【基本情報】

事業開始年度		完了(予定)年度	事務事業に関連の深いSDGs	
-		令和7年度	 	
ビジョン	方針	01快適な生活環境の創出	目標	01下水道普及率の向上
	施策	01未整備地域の早期解消		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	【受益者】市街化調整区域内で公共下水道が整備されていない路線に面する土地に居住(又は営業)する市民(又は事業者)	1,939 (R7. 3. 31時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	取付管設置後に、受益者による宅内排水設備の新設(改造)工事を行ってもらい、公共下水道を使用できる状態にする。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	対象路線に下水道管渠(本線)を埋設し、併せて対象地に対して取付管を設置する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	853,719 千円	1,372,901 千円	1,466,989 千円
うち、一般財源	116,172 千円	1,120 千円	44,689 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
工事発注件数	件	12	17	20		
整備人口	人	475	510	565		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
普及率	%	91.7	93.3	93.6	令和7年度	100.0

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び取組コメント	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	令和6年度はPPP(第1工区)による工事及び従来型分割発注による工事の進捗により、令和5年度と比較し整備人口は55人の増加となった。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	令和6年度末における普及率は、前年度と比較し0.3ポイント上昇している。未普及地域の解消は着実に進んでおり、引き続き目標値に向けて事業の推進を図る必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市上下水道局事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事業名	管渠改築事業	部局名	上下水道局
		課 名	下水道課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—		
ビジョン	方針	02危機に強い安全・安心な下水道の実現	目標
	施策	01-01 管渠・施設の耐震化 02-02 ストックマネジメントの実践	01災害への備え 02管渠・施設の機能維持

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	改築更新を要する管路の延長	718 (R7. 3. 31時点)	m
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	健全な下水道施設の持続を図り、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	令和5年度に策定した下水道ストックマネジメント計画に基づき、管渠の劣化状況と財政面とのバランスを考慮したうえで、計画的かつ効率的に改築・更新を実施する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	40,239 千円	107,198 千円	111,784 千円
うち、自己財源	739 千円	0 千円	94,484 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
工事・委託発注件数	件	1	1	1		
改築更新を要する管路の延長	m	153	0	0		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
事業進捗率(R1～R5実施分)	%	100	100	-	令和5年度	100
事業進捗率(R6～R10実施分)	%	-	-	5	令和10年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び取組コメント	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	第1期水SM計画における令和元年度から令和5年度の間に実施する事業を完了することができた。引き続き、管渠の劣化状況と財政面とのバランスを考慮した上で、計画的かつ効率的に改築・更新を進める。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	埼玉県八潮市で発生した下水道管路の破損に起因すると考えられる道路陥没事故を受けて、国土交通省より「下水道管路の全国特別重点調査」の実施を要請された。本市においても対象となる大口径管の目視調査等を早急に実施する必要がある。
今後の展開	☒ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市上下水道局事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事業名	雨水管渠整備事業	部局名	上下水道局
		課 名	下水道課

【基本情報】

事業開始年度		完了(予定)年度		事務事業に関連の深いSDGs	
—		—			
ビジョン	方針	02危機に強い安全・安心な下水道の実現		目標	01災害への備え
	施策	02浸水対策			

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民(整備計画区域内住民)	3,463.7	ha
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	44mm/hの降雨に対応した雨水管渠を整備することにより、浸水被害を軽減する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	公共下水道事業計画に基づき雨水管渠を整備する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	644,441 千円	1,220,672 千円	529,264 千円
うち、自己財源	1,063 千円	0 千円	24,464 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
雨水整備面積(述ベ)	ha	1,713.30	1,729.60	1,730.60		
別府川9-2号雨水幹線整備	m	123	408	167		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
都市浸水対策達成率	%	49.5	49.9	49.9	令和10年度	50.9
別府川9-2号雨水幹線整備事業進捗率	%	15.7	68.1	89.5	令和7年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び取組コメント	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	別府川9-2号雨水幹線整備工事などの浸水対策事業を実施した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	令和7年3月に別府川9-2号雨水幹線整備工事(第2工区)が完成するなど、浸水対策は着実に進捗している。今後も継続して浸水被害のある地区を優先に雨水幹線整備を進める。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市上下水道局事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事業名	汚水ポンプ場施設建設改良事業	部局名	上下水道局
		課 名	下水道課

【基本情報】

事業開始年度		完了(予定)年度		事務事業に関連の深いSDGs	
—		—			
ビジョン	方針	02危機に強い安全・安心な下水道の実現		目標	02管渠・施設の機能維持
	施策	02ストックマネジメントの実践			

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	汚水中継ポンプ場(安田・池尻・石守中継ポンプ場)及びマンホールポンプ場	44 (R7. 3. 31時点)	施設
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	建設及び改築更新工事を行うことにより、汚水中継処理及び雨水排水が確実に行われる状態にする。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	対象施設が適正に稼働し、汚水中継処理及び雨水排水が確実に行われるよう、計画的に建設及び改築更新工事を行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	92,290 千円	44,218 千円	6,468 千円
うち、一般財源	12,190 千円	11,508 千円	0 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
工事・委託発注件数	件	1	3	4		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
汚水中継処理能力	m3／分	68	68	68	令和9年度	68
雨水排水能力	m3／分	1,116	1,116	1,116	令和9年度	1,116

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び取組コメント	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	令和5年度に策定した下水道ストックマネジメント計画(2)に基づき、令和6年度においては土山マンホールポンプ場外の改築更新工事発注のための実施設計を行った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	令和6年度に土山マンホールポンプ場外の実施設計を行い、下水の中継処理能力の維持を図るための事前準備ができた。今後もストックマネジメント計画に基づき施設の改築更新工事を行うとともに、合わせて耐震化及び耐水化工事を実施していく。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市上下水道局事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事業名	雨水ポンプ場施設建設改良事業	部局名	上下水道局
		課 名	下水道課

【基本情報】

事業開始年度		完了(予定)年度		事務事業に関連の深いSDGs	
—		—			
ビジョン	方針	02危機に強い安全・安心な下水道の実現		目標	02管渠・施設の機能維持
	施策	02ストックマネジメントの実践			

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	雨水ポンプ場(神野団地・新野辺・西脇・中島雨水ポンプ場)及び場外除塵機・ゲート設備	26 (R7. 3. 31時点)	施設
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	建設及び改築更新工事を行うことにより、雨水排水が確実に行われる状態にする。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	対象施設が適正に稼働し、雨水排水が確実に行われるよう、計画的に建設及び改築更新工事を行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	117,000 千円	374,044 千円	0 千円
うち、一般財源	0 千円	0 千円	0 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
工事・委託発注件数	件	4	0	3		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
雨水排水能力	m3／分	2,522	2,522	2,522	令和9年度	2,522

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び取組コメント	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	令和5年度に策定した下水道ストックマネジメント計画(2)に基づき、令和6年度においては新野辺雨水ポンプ場の改築更新工事を発注した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	令和6年度に新野辺雨水ポンプ場の改築更新工事を発注し、雨水排水能力の維持を図るための工事に着手することができた。今後もストックマネジメント計画に基づき施設の改築更新工事を行うとともに、合わせて耐震化及び耐水化工事を実施していく。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	非常備消防車両整備事業	部局名	消防本部
		課(室)名	総務課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑦投資事業		
総合計画	基本目標	02安心して暮らせるまち	政策	03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	02消防・救急体制の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	加古川市内全ての市民	257,896 (R6. 4. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	常備消防と連携しながら、市民の生命、身体及び財産を火災等の災害から保護するとともに、災害による被害を軽減するため、計画的に非常備消防車両を更新する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	車両更新計画に基づき耐用年数を迎える車両を更新する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	12,869 千円	6,962 千円	17,429 千円
うち、一般財源	69 千円	32 千円	49 千円

【評価指標】

【2】計画目標						
活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
非常備消防車両整備数	台	2	1	1		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
更新・配備率	%	100	100	100	令和8年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	東神吉分団消防ポンプ自動車の更新を行った。 部品の製造に遅延が発生していたが、納入期限内に更新を行うことができた。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	計画的に車両を更新することで、地域防災における消防団の消防力維持に努めなければならない。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	常備消防車両整備事業	部局名	消防本部
		課(室)名	警防課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑦投資事業		
総合計画	基本目標	02安心して暮らせるまち	政策	03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	02消防・救急体制の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	加古川市消防本部管内全ての市民	323,289 (R6. 4. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	市民の生命、身体及び財産を火災等の災害から保護するとともに、災害による被害を軽減するため、計画的に消防車両を更新する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	車両更新計画に基づき耐用年数を迎える車両を更新する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	1,607 千円	24,751 千円	47,563 千円
うち、一般財源	1,607 千円	9,759 千円	163 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
常備消防車両整備数	台	3	3	2		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
更新・配備率	%	33.3	100	100	令和8年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 中央消防署北分署タンク車の更新を行った。また、トラックシャシ供給の遅延等から、令和8年度更新予定の車両について、令和7年度予算要求において債務負担行為による予算措置を行った。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	厳しい財政状況ではあるが、車両更新は市民の安全安心に直結する事業のため、関係各課と調整を図りながら、車両更新計画に基づき、適正に車両を配備していく。また、トラックシャシの車両については、引き続き債務負担行為による複数年度の事業を展開する必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	応急手当普及啓発事業	部局名	消防本部
		課(室)名	救急課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成29年度	—	⑤市施策事業(経常)	  	
総合計画	基本目標	02安心して暮らせるまち	政策	03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	02消防・救急体制の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	加古川市消防本部管内全ての市民	323,289 (R6. 4. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	応急手当の実施率を上げるため、救急講習等における受講者数の年度目標を達成する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	救命講習、応急手当普及員講習、一般救急講習等を開催する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	835 千円	1561 千円	1,270 千円
うち、一般財源	835 千円	961 千円	1,270 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
加古川市消防本部管内の市民(13歳から65歳)	人	201,719	200,939	199,859		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
普通救命講習受講者数	人	2,178	3,302	3,683	令和8年度	3,400

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけが2類相当から5類感染症に変更された令和5年5月以降、講習会の実施回数及び受講者数は増加傾向にあり、受講者数は目標値を上回った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	バイスタンダー(現場に居合わせた人)が応急手当を行うことで大きな救命効果が期待できるため、応急手当の重要性について広く市民に普及啓発することが必要であり、今後も事業を継続していかなければならない。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	救急車両整備事業	部局名	消防本部
		課(室)名	救急課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑦投資事業	  	
総合計画	基本目標	_02安心して暮らせるまち	政策	_03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	02消防・救急体制の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	加古川市消防本部管内全ての市民	323,289 (R6. 4. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	車両更新計画に基づき救急自動車を更新し、併せて高度救命処置用資機材等を計画的に更新し高度化することにより、質の高い救急業務を実施することを目的とする。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	車両更新計画に基づき救急自動車を更新し、併せて高度救命処置用資機材等を更新、高度化する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	34,911 千円	71,531 千円	37,041 千円
うち、一般財源	22,971 千円	6,646 千円	5,296 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
救急自動車整備数	台	1	2	2		
				※うち1台は寄贈		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
整備・更新率	%	100	100	100	令和8年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	中央消防署及び東消防署播磨分署の救急自動車を更新し、併せて高度救命処置用資機材等を更新、高度化した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点のもとに、各部局において総合的に判断した評価	車両更新計画に基づき救急自動車を更新し、併せて高度救命処置用資機材等を更新することにより、救急体制を維持することが必要である。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	指令システム管理事業	部局名	消防本部
		課(室)名	指令課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成11年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	02安心して暮らせるまち	政策	03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	02消防・救急体制の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	加古川市消防本部管内全ての市民	323,289 (R6.4.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	高機能消防指令センターを安定稼働させ、市民からの119番通報に対し適切な対応を実施する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	定期的に保守点検を実施し、安定稼働に必要な措置を講じる。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	84,035 千円	84,936 千円	101,116 千円
うち、一般財源	84,035 千円	84,936 千円	88,316 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
119番通報件数	件	25,227	27,407	26,564		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
システム障害件数	件	0	0	0	令和8年度	0

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	重大なシステム障害は発生しておらず、高機能消防指令センターの安定稼働を実現した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	年間の119番通報件数は高止まりの傾向にあり、25,000件を超えている。高機能消防指令センターは、市民生活の安全・安心に必要不可欠であり、代替できる事業もなく、妥当性、有効性の高い事業である。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	火災予防事業	部局名	消防本部
		課(室)名	予防課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
昭和23年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	02安心して暮らせるまち	政策	03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	02消防・救急体制の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	加古川市消防本部管内全ての市民	323,289 (R6. 4. 1 時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	火災を予防するとともに、火災による被害の軽減を図ることを目的とする。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	管内事業所等からの申請書等を審査して検査及び査察を行い、違反処理を実施する。防火管理講習会等の各種講習会を開催する。火災予防運動等の啓発事業を行い、火災予防広報を実施する。少年消防クラブ及び幼年消防クラブ事業を実施する。住宅防火対策を推進し、特に住宅用火災警報器の設置及び適切な維持管理の必要性を周知する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	3,817 千円	2,970 千円	4,442 千円
うち、一般財源	2,757 千円	2,970 千円	3,364 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
査察実施数	件	1,898	1,848	2,956		
防火管理講習会受講者数	人	286	311	271		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
火災件数	件	88	94	90	令和8年度	0
住宅用火災警報器設置率	%	81.7	83.9	86.7	令和8年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
	年間計画に基づき実施する一般査察に加えて、大規模な倉庫や駅前周辺の雑居ビルなど、他都市で発生した事故・火災等の類似施設等に対して特別査察を実施した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	火災を未然に防ぎ、火災による被害を最小限にとどめるためには、市民や事業所に対する防火広報や防火指導が必要である。市民生活の安全・安定の確保のため、継続的に実施していかなければならない事業である。
今後の展開	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	選挙常時啓発事業	部局名	選挙管理委員会事務局
		課(室)名	

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)	 	
総合計画	基本目標	06まちづくりの進め方	政策	01まちづくりの進め方
	施策	01多様な主体と行政との協働		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	①市内の有権者 ②市内の小・中・高等学校に通う児童・生徒	①216,052/②24,330 (①R7.3.1/②R6.5.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	①政治・選挙に対する意識の高揚を図る ②選挙啓発ポスターの作成等を通して、選挙の重要性を考える機会を創造する		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	①市立公民館において政治講座等を開催する ②明るい選挙啓発ポスターコンクールを実施する		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	232 千円	307 千円	825 千円
うち、一般財源	232 千円	307 千円	825 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
政治講座等開催回数	回	4	4	4		
ポスターコンクール募集	回	1	1	1		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
政治講座等出席者数	人	269	196	348	令和8年度	280
ポスターコンクール応募件数	件	909	701	547	令和8年度	1,000

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 政治講座について、令和5年度はすべて高齢者を対象とした講座として実施していたが、令和6年度は小学生とその保護者を対象とした講座も実施するなど対象の拡大を図った。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	地域の公民館での政治講座、市内の小・中学生を対象とした選挙啓発ポスターコンクールにより、選挙・政治に対する意識の醸成を図っているところであるが、若者の政治離れは全国的な課題であり、若年層に対するアプローチとして、出前講座や選挙物品の貸出、新有権者への啓発冊子の配布など並行して行っていく必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	小学校就学奨励事業	部局名	教育総務部
		課(室)名	学務課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
昭和54年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	05教育環境の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	小学校及び義務教育学校前期課程に就学する児童	12,716 (R6. 5. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	経済的に就学が困難な世帯における義務教育の円滑な実施に資する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	教育に係る費用の一部を援助する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	104,727 千円	101,772 千円	97,836 千円
うち、一般財源	104,616 千円	101,670 千円	97,768 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
案内チラシ広報数	枚	16,976	16,509	15,758		
SNS等広報数	回	8	8	8		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
就学援助申請者数	人	1,480	1,404	1,346	令和7年度	1,270
教育を支える体制や学習満足している市民の割合	%	41.5	42.9	55.6	令和8年度	60.0

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 市外の小・中・義務教育学校へ通う児童生徒を対象に加えるとともに、援助費目アレルギー等によりやむを得ず弁当を食する児童生徒に対する給食費の主食・副食相当額や通学費を追加した。また、オンラインによる申請受付を開始した。
--------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	学校教育法に基づく市の役割として、経済的な理由により就学が困難な児童生徒に対し、教育にかかる費用の一部を援助することで義務教育を担保するため、取り組みを継続する。また、支援が必要な世帯に必要な支援が行き渡るよう、広報の充実や制度設計の見直しを図っていく。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	中学校就学奨励事業	部局名	教育総務部
		課(室)名	学務課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
昭和54年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	05教育環境の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	中学校及び義務教育学校後期課程に就学する生徒	6,914 (R6. 5. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	経済的に就学が困難な世帯における義務教育の円滑な実施に資する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	教育に係る費用の一部を援助する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	88,043 千円	86,139 千円	83,373 千円
うち、一般財源	87,712 千円	85,944 千円	82,954 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
案内チラシ広報数	枚	7,758	7,689	7,663		
SNS等広報数	回	8	8	8		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
就学援助申請者数	人	808	802	725	令和7年度	687
教育を支える体制や学習満足している市民の割合	%	41.5	42.9	55.6	令和8年度	60.0

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 市外の小・中・義務教育学校へ通う児童生徒を対象に加えるとともに、援助費目アレルギー等によりやむを得ず弁当を食する児童生徒に対する給食費の主食・副食相当額や通学費を追加した。また、オンラインによる申請受付を開始した。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	学校教育法に基づく市の役割として、経済的な理由により就学が困難な児童生徒に対し、教育にかかる費用の一部を援助することで義務教育を担保するため、取り組みを継続する。また、支援が必要な世帯に必要な支援が行き渡るよう、広報の充実や制度設計の見直しを図っていく。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	学校園医等配置事業	部局名	教育総務部
		課(室)名	学務課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	05教育環境の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	加古川市立小・中学校、幼稚園、特別支援学校に 在籍する児童生徒等	20,176 (R6. 5. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	児童生徒等の健康の保持増進及び学校環境衛生の保全を図る		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	各校園に専門家として学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を配置して指導にあたり、児童生徒等の健康の保持増進及び学校環境衛生の保全を図る。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	87,119 千円	86,229 千円	85,749 千円
うち、一般財源	87,119 千円	86,229 千円	85,749 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
学校医等配置数	人	289	289	290		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
プライバシーに配慮した 内科検診実施率	%	—	—	100	令和8年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 学校健診に係る相談内容が複雑・多様化し、また、プライバシーに配慮した受診体制の構築が課題となっていたことから、内科校医の配置基準を緩和するとともに、全中学校において同性医師による内科検診を実施した。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	生徒へのアンケート結果から、同性医師による内科検診の導入は、生徒の心情に配慮した取り組みであったと考えられる。引き続きプライバシーに配慮した健診体制の構築など、児童生徒等の健康の保持・増進及び学校環境衛生の保全に取り組むとともに、新たに生じた課題の解決に向けた見直しを図っていく。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	交通安全指導員事業	部局名	教育総務部
		課(室)名	学務課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
昭和43年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	02安心して暮らせるまち	政策	03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	03防犯・交通安全対策の推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	登下校中の児童	12,716 (R6. 5. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	・児童を交通事故から守る ・児童の交通安全に対する意識を向上させる ・児童が交通安全に関する知識を習得する		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	・登下校時、通学路の危険箇所に交通安全指導員を配置する ・交通安全指導員は児童に対して保護誘導及び通行方法の指導を行う		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	52,047 千円	53,041 千円	49,671 千円
うち、一般財源	52,047 千円	53,041 千円	49,671 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
交通安全指導員配置	箇所	98	98	90		
定期評価実施	校	—	6	6		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
指導員配置箇所における交通事故数	件	0	0	0	令和8年度	0

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 児童の安全確保のため、必要箇所には交通安全指導員を配置した。また、市内6校の既設の交通安全指導員配置箇所において、定期評価に係る現地調査を実施し、配置箇所の最適化を行った。
--------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	登下校時の児童の安全を確保するため、PTAや地元町内会、学校支援ボランティアと連携し事故防止に努めるとともに、引き続き通学路に交通安全指導員を配置し、交通事故防止の取り組みを継続する。 また通学路安全プログラムに基づく合同点検時に、交通安全指導員配置箇所の定期評価に係る現地調査を行い、配置箇所の最適化を行う。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	小中一貫校建設事業	部局名	教育総務部
		課(室)名	学校施設課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和3年度	令和6年度	⑦投資事業		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	05教育環境の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	両荘地区義務教育学校	1 (R6. 4. 1時点)	校
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	両荘地区義務教育学校の整備		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	両荘地区義務教育学校新築外工事、敷地造成工事、外構工事		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	381,961 千円	2,342,365 千円	458,068 千円
うち、一般財源	28,736 千円	208,333 千円	50,768 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
工事目標進捗率	%	31	96	100		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
工事進捗率	%	22	96	100	令和6年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	令和6年度においては、旧両荘公民館の解体、及び跡地のスクールバスロータリー及び駐車場整備、側溝設置工事を行った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	適切な工事の進捗管理を行い、無事に工事を完成させた。
今後の展開	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	小学校営繕事業	部局名	教育総務部
		課(室)名	学校施設課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑦投資事業		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	05教育環境の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市内小学校	26 (R6. 4. 1時点)	校
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	安全で快適な学習環境の整備を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	施設全般の老朽化等に伴う維持補修工事の実施		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	153,474 千円	139,541 千円	307,734 千円
うち、一般財源	118,474 千円	91,041 千円	294,734 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
工事発注予定数	件	11	11	14		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
工事発注率	%	100	100	100	令和8年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	安全で快適な学習環境を確保するため、必要な工事を実施している。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	建物の安全性を確保しながら、長期にわたり有効に利活用されるよう、適切に維持管理し環境を整備することが求められている。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	小学校教育環境整備事業	部局名	教育総務部
		課(室)名	学校施設課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑦投資事業		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	05教育環境の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市内小学校	26 (R6. 4. 1時点)	校
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	老朽化した建物及び設備の機能改善		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	整備計画の立案及びトイレを中心とした大規模改修工事の実施		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	320,652 千円	219,366 千円	226,665 千円
うち、一般財源	12,763 千円	66,595 千円	27,997 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
工事発注棟数	件	7	4	5		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
トイレ洋式化率	%	74	80	87	令和7年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	トイレ大便器の洋式化及び衛生環境を改善するため、児童が主に使用する校舎内トイレを優先して改修工事を実施している。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	児童が安全で快適な学習環境で学ぶことができるよう、老朽化した建物及び設備を改修していくことが求められている。 しかしながら、少子化により、児童数が減少している現在の状況において、限られた財源で効果が得られるよう、改修すべき内容について十分に検討する必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	中学校営繕事業	部局名	教育総務部
		課(室)名	学校施設課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑦投資事業		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	05教育環境の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市内中学校、義務教育学校	12 (R6. 4. 1時点)	校
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	安全で快適な学習環境の整備を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	施設全般の老朽化等に伴う維持補修工事の実施		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	66,917 千円	73,997 千円	16,434 千円
うち、一般財源	55,117 千円	56,697 千円	34 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
工事発注予定数	件	7	8	1		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
工事発注率	%	100	100	100	令和8年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	安全で快適な学習環境を確保するため、必要な工事を実施している。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	建物の安全性を確保しながら、長期にわたり有効に利活用されるよう、適切に維持管理し環境を整備することが求められている。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	中学校教育環境整備事業	部局名	教育総務部
		課(室)名	学校施設課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑦投資事業		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	05教育環境の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市内中学校、義務教育学校	12 (R6. 4. 1時点)	校
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	老朽化した建物及び設備の機能改善		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	整備計画の立案及びトイレを中心とした大規模改修工事の実施		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	3,204 千円	136,331 千円	91,131 千円
うち、一般財源	609 千円	41,804 千円	16,359 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
工事発注棟数	件	0	4	1		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
トイレ洋式化率	%	75	82	87	令和7年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	トイレ大便器の洋式化及び衛生環境を改善するため、生徒が主に使用する校舎内トイレを優先して改修工事を実施している。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	生徒が安全で快適な学習環境で学ぶことができるよう、老朽化した建物及び設備を改修していくことが求められている。 しかしながら、少子化により、生徒数が減少している現在の状況において、限られた財源で効果が得られるよう、改修すべき内容について十分に検討する必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	児童クラブ運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
昭和60年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	01結婚・出産・子育ての支援		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童	3,306 (R6. 5. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	放課後の保護を必要とする児童の安全を確保し、健全育成を図るとともに、保護者が安心して子どもを育て、子育てと仕事等を両立できるように支援する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	市内小学校(義務教育学校を含む)敷地内等に児童クラブ教室を設置し、放課後等の時間帯に入所児童に対して、家庭に代わる生活の場を確保し、児童クラブ職員(支援員及び補助員)により、生活の場、また遊びを通じた健全育成の場として、保護育成とともに指導を行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	493,697 千円	521,845 千円	631,078 千円
うち、一般財源	75,324 千円	89,905 千円	110,569 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
児童クラブ数	箇所	79	79	79		
児童クラブ開所日数	日	243	243	243		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
児童クラブ入所者数	人	3,051	3,225	3,333	令和8年度	3,054
保育中の重大事故件数	件	0	0	0	令和8年度	0

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 児童クラブ支援員・補助員の指導力、専門性の向上を図るため、研修を計画的に実施するとともに、児童クラブ推進員による巡回指導を実施した。また、児童クラブの安定的な運営体制の構築のため民間委託に向けた準備を進め、委託業者を選定し、選定後は、委託業者と連携しながら、スムーズな移行を図った。令和6年4月から直営43児童クラブ、委託36児童クラブの管理運営体制とし、委託業者と連携を図りながら、質の高い児童クラブ運営ができるよう努めた。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	児童数は減少傾向にあるが、児童クラブの利用希望は増加している。児童や保護者が安心して利用できるよう、支援員・補助員の質の向上に努めるとともに、36児童クラブの管理運営を民間委託するなど、児童クラブの安定的な運営体制を確保することができている。 民間委託により、支援員・補助員の安定的な人材確保や資質向上、均一かつ良質なサービスの提供など、保育サービスの更なる向上が図られるため、直営の43児童クラブについても、民間委託に向け取り組みを進めていく必要がある。
今後の展開	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	児童クラブ教室整備事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和6年度	—	⑦投資事業		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	01結婚・出産・子育ての支援		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童	3,306 (R6. 5. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	児童が安全に児童クラブを利用できる環境を整備する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	市内小学校(義務教育学校を含む)敷地内等に、施設基準に適合した児童クラブ教室を設置する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	— 千円	— 千円	50,121 千円
うち、一般財源	— 千円	— 千円	9,067 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
児童クラブ数	箇所	79	79	79		
児童クラブ開所日数	日	243	243	243		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
児童クラブ入所者数	人	3,051	3,225	3,333	令和8年度	3,054
保育中の重大事故件数	件	0	0	0	令和8年度	0

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 若宮第3児童クラブは、余裕教室を利用していたが、小学校の学級編制の標準の引き下げ措置(40人から35人に引き下げ)により、令和7年度から余裕教室の利用が困難となったため、令和6年度に新たな教室を整備するための準備を進め、プレハブ教室を整備した。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	児童が安全に児童クラブを利用できる環境を確保するための、児童クラブ教室の新設及び改修による施設整備は、引き続き実施していく必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	公民館営繕事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和3年度	—	⑦投資事業		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	02地域における教育・学習環境を整備する
	施策	01生涯学習の推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	加古川市立公民館	12 (R6.4.1時点)	館
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	市立公民館の改修工事を行い、施設の長寿命化を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	施設の長寿命化を図る。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	218,581 千円	14,619 千円	54,700 千円
うち、一般財源	21,881 千円	2,819 千円	5,500 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
発注予定数	件	3	2	1		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
公共施設等総合管理計画に基づく建設及び改修工事実施率	%	100	100	100	令和11年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 施設の長寿命化を図るため、必要な工事等を実施している。 令和5年度は、野口公民館大規模改修工事に係る設計業務委託を行い、令和6年度から野口公民館大規模改修工事を着工している。
--------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	施設の長寿命化を図るため、必要な工事等を実施している。 引き続き、公共施設等総合管理計画に基づき、計画的に大規模改修や中規模改修等を実施する必要がある。 また、多様な利用者を考慮したユニバーサルデザインや脱炭素化に向けた取り組みが求められている。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	公民館魅力発信事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和4年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	02地域における教育・学習環境を整備する
	施策	01生涯学習の推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民	255,533 (R6.4.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	多くの市民の方に公民館における生涯学習機会に触れていただくため、公民館の主催事業等の生涯学習機会(魅力)を多くの市民の方に知っていただきたい。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	公民館における生涯学習機会が充実したものとなるよう、主催事業の充実を図るとともに、主催事業の広報等を通じて、公民館の生涯学習機会(魅力)を知っていただく頻度を増加させる。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	10 千円	545 千円	547 千円
うち、一般財源	10 千円	460 千円	451 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
対象講座の実施回数	回	2	25	26		
対象講座を活用した生涯学習機会の周知回数	回	8	136	67		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
対象講座をきっかけに公民館を新たに利用した者の数	人	39	105	88	令和7年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 東加古川公民館において、月替わり教養講座、月替わり子ども向け講座、月替わり料理講座、夜間趣味講座の4講座について、令和5年度は25事業、令和6年度は26事業実施した。また、広報かこがわやホームページでの広報に加え、SNSを用いた募集や実施報告を行い、新規利用者の獲得に努めた。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	多くの市民の方に公民館における生涯学習機会に触れていただくためには必要な事業である。令和7年度は、引き続き東加古川公民館において講座を実施するとともに、受講者アンケートを分析し、市民の学習ニーズの把握に努める。
今後の展開	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	社会教育委員、推進員設置事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)	 	
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	02地域における教育・学習環境を整備する
	施策	01生涯学習の推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民	255,533 (R6.4.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	社会教育委員会議の開催を通じて、社会教育の振興を図るとともに、社会教育推進員の設置を通じて、市民一人ひとりの社会教育に対する関心を高める。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	社会教育の振興を図るために多様な協議を行う場として、社会教育委員会議を開催するとともに、社会教育を推進するための活動を行う社会教育推進員を設置する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	11,551 千円	11,531 千円	11,493 千円
うち、一般財源	11,551 千円	11,531 千円	11,493 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
社会教育委員会議開催回数	回	6	6	5		
社会教育推進員研修会開催回数	回	10	13	17		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
社会教育委員会議参加率	%	73.1	82.7	81.5	令和9年度	90
社会教育・福祉教育推進員全市研修会参加率	%	72.3	74.3	68.4	令和9年度	77

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 社会教育委員会議や社会教育推進員研修会に多数の委員や推進員が参加いただけるよう、委員の状況等を踏まえて、会議日程や会場を設定する等の取組を行った。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	生涯学習の推進体制の充実のため、社会教育委員会議や社会教育推進員研修会の参加率を目標値に近づけることができるよう、引き続き、委員や推進員に対して会議や研修会への参加を呼びかけるとともに、日程や会場が参加しやすいものとなるよう、配慮を行う。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	家庭教育支援啓発事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	02地域における教育・学習環境を整備する
	施策	02青少年の健全育成		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	幼児、児童、生徒の保護者	20,126 (R6. 5. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	青少年の健全育成を図るため、各家庭において必要な情報提供及び学びの機会を創出する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	・市主催による家庭教育講演会の実施 ・単位PTAによる家庭教育講座の実施		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	1,577 千円	1,542 千円	847 千円
うち、一般財源	1,577 千円	1,542 千円	847 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
市主催講演会実施回数	回	-	-	2		
各単位PTAによる家庭教育講座回数	回	-	-	4		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
市主催講演会参加人数 (動画視聴者数含む)	人	-	-	1,389	令和6年度	400
各単位PTA講座参加者数	人	-	-	111	令和6年度	400

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 PTA連合会に委託して行っていた家庭教育大学事業を見直し、市主催の家庭教育講演会を2回実施した。また、希望する各単位PTAに対し、家庭教育講座の委託を行った。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	社会環境の変化に伴い、家庭環境も変化している。青少年の健全育成を図るため、多様な家庭環境に対応した内容の家庭教育講演会の実施が望まれている。今後も、家庭教育の必要性について、引き続き啓発することが必要であるため、保護者が参加しやすい家庭教育講演会を実施する。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	放課後子ども教室事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	02地域における教育・学習環境を整備する
	施策	02青少年の健全育成		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市内小学校の児童(義務教育学校の前期課程を含む)	12,721 (R6.4.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	こどもたちの活動拠点(居場所)を確保し、放課後や週末等における様々な体験活動や地域住民との交流活動を促す。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	小学校の余裕教室等を活用し、地域の多様な方々の参画を得て、こどもたちとともに学ぶ学習やスポーツ・文化活動等の取組を支援する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	4,221 千円	4,909 千円	5,828 千円
うち、一般財源	2,384 千円	3,410 千円	4,624 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
事業実施回数	回	819	827	809		
ボランティア数	人	173	216	201		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
実施校数	校	28	28	27	令和9年度	27

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 令和5年度・令和6年度においても、全小学校(義務教育学校の前期課程を含む)で事業を実施することができた。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	こどもたちに、放課後や週末等における様々な体験活動や地域住民との交流活動を行う機会を提供するため、引き続き義務教育学校を含む全27小学校で事業を実施していきたい。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	文化財調査事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	
	施策	02文化・芸術の振興	03スポーツや文化・芸術を振興する	

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	埋蔵文化財、指定・登録文化財	838 (R7.3.31時点)	件
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	市内の埋蔵文化財包蔵地内では、住宅建設等の開発計画等がある場合、早めに情報を得て調査を実施するなど、本市の文化財を破壊、消失、損傷などから防ぎ、適切に保護する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	公共事業や民間の開発事業等により破壊のおそれのある埋蔵文化財については、開発行為の前に確実に確認調査等を実施し、保存に努める。その他の文化財については、必要に応じて保存・活用のため、適切な調査を実施する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	24,962 千円	11,393 千円	17,679 千円
うち、一般財源	13,908 千円	8,108 千円	10,707 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
文化財調査依頼等件数	件	131	136	139		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
文化財調査実施件数	件	30	33	33	令和8年度	35
文化財調査報告書発行件数	件	2	2	2	令和8年度	3

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 市域では今後も公共事業や民間の開発事業等が活発に行われると見込まれることから、体制の整備及び関係機関との連携に留意しながら、埋蔵文化財調査の適切な実施に努めた。また、その他の文化財についても保存・活用のため、必要に応じて適切な調査を実施した。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	本市の文化財を適切に保護するために必要な事業であることから、妥当性を見直す余地がなく、調査件数は前年度並みを維持している。 また、コストについては、調査対象の一部である公共事業の内容や量によって、大きく変動する要素があるため一概に評価はできないが、前年度に比べ約620万円ほど増加した。 なお、令和7年3月に、本市で初めてとなる市登録有形文化財3件を登録した。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	西条古墳群記念事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和6年度	令和6年度	⑥市施策事業(臨時)	  	
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
	施策	02文化・芸術の振興		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	文化財に興味・関心を持つ市民及び市外在住者		
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	記念事業を通じ、西条古墳群(行者塚古墳、尼塚古墳、人塚古墳)についてより一層興味・関心を持っていただき、加古川市の宝の一つであることを知っていただく良い機会とする。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	昭和48年6月に西条古墳群(行者塚古墳、尼塚古墳、人塚古墳)が国史跡に指定されて50年が経過したこと、また、行者塚古墳の発掘調査報告書が刊行されたことを記念して、講演会や現地見学会の開催、総合文化センター博物館での企画展の開催、記念小冊子やチラシの作成配布、JR神野駅前等に大型案内看板の設置、5～10分程度の解説動画の作成などを行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	— 千円	— 千円	2,170 千円
うち、一般財源	— 千円	— 千円	2,170 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
記念講演会、現地見学会開催回数	回	—	—	3		
企画展開催期間	箇月	—	—	7		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
記念講演会、現地見学会参加者数	人	—	—	248	—	—
企画展入場者数	人	—	—	15,792	令和6年度	14,000

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	総合文化センター博物館で開催した企画展では、15,000人以上の入場者があり、当初の想定以上の数となった。 また、記念講演会、現地見学会についても、例年の文化財講座の参加者数を上回る数となった。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	単年度で実施する記念事業であるため、当初は事業内容の妥当性や有効性に不安もあったが、結果としては概ね満足できるものとなった。 また、予算内で記念小冊子や報告書、西条古墳群の解説動画の作成を効率的に行うことで、こどもから大人まで年代を問わず、加古川市に存在する貴重な古墳群を紹介できる良い機会となった。
今後の展開	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	スマートスクール推進事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	学校教育課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和3年度	令和6年度	⑥市施策事業(臨時)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	03義務教育の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市立の学校に通う児童生徒ならびに教職員	21,006 (R6. 5. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	ICTの有効的な活用を通して、確かな学力を養う。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	専門家による研究指導や採点・支援システム導入等に対する助成を通して、授業や業務においてICTの有効的な活用を行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	312 千円	1,584 千円	1,584 千円
うち、一般財源	312 千円	1,584 千円	1,584 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
研修会回数	回	6	27	1		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
受講者アンケートによる満足度	点	3.3	4	5	令和8年度	3.7
授業でICTを活用できる教員の割合	%	77.8	79.1	78.1	令和8年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 中学校11校と義務教育学校1校で採点支援システム「百問繚乱」を活用し、採点業務の効率化による業務改善を進めることができた。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	年度末に行ったアンケート結果では、採点業務に「百問繚乱」を活用している教職員は、90.6%であり、導入校での活用が進んでいることが分かった。そのうち、98.9%が「百問繚乱」の活用により業務改善につながったという回答であった。 今後は、校務システム運営事業と統合し、校務DXに取り組む。
今後の展開	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☒ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	未来を拓く学び推進事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	学校教育課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成30年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	03義務教育の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市立の学校に通う児童生徒	19,665 (R6. 5. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	協同的探究学習の理念に基づいた授業実践を行うことで、市内児童生徒の学力向上及び自己肯定感の育成を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	本市の学力・学習状況を分析し、その実態に即した授業改善プランの作成など、学力向上策の検討・提案及び推進を図る。授業改善プランに基づいた授業実践を全市で行うとともに、研究推進校による成果を全市に広げる。合わせて、評価検討委員会において、学習評価について検証を行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	1,078 千円	847 千円	935 千円
うち、一般財源	1,078 千円	847 千円	935 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
指導助言回数	回	97	113	116		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
習得・活用・探究の指導方法を改善した学校の割合	%	小:96.4 中:86.7	小:96.4 中:75.0	小:88.9 中:100	令和11年度	95
話し合いで自分の考えを深めた児童生徒の割合	%	小:86.7 中:76.5	小:84.7 中:79.5	小:86.4 中:86.7	令和11年度	90

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 市内全ての学校において、協同的探究学習の理念に基づいた研究授業を行い、授業改善に取り組んだ。研究推進校は、特に児童生徒の深い学びに向けた教員の発問について研究を進めた。これまでの取組の成果と課題、今後について、「加古川市学力向上推進プラン」取組状況及び点検・評価報告書にまとめた。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	大学教授や指導主事による指導助言等により、各校の実態に応じて研究が推進され、協同的探究学習の理念に基づいた授業実践により、自分の考えを深めたり広げたりできる児童生徒が増加している。今後は、協同的探究学習の理念に基づく授業改善と指導と評価のあり方を研究し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、児童生徒の資質・能力の育成を図る。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	英語活動支援事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	学校教育課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成22年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	03義務教育の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市立の学校園に通う幼児・児童・生徒	20,364 (R6. 5. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	中学校・義務教育学校(後期課程)では、ALTの生きた英語に触れさせ、コミュニケーション能力の基礎を養う。小学校・義務教育学校(前期課程)では、ALTとの触れ合いを通して、コミュニケーション能力の素地を養う。市立の幼稚園・こども園では、英語に触れる機会を設ける。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	中学校には年間16時間、小学3～6年生には年間23時間、小学1・2年生には3時間、養護学校には年間10日間、ALTを配置する。また、1年から英語科を導入している義務教育学校には、ALTを常駐させる。さらに、市立の幼稚園・こども園には年間3回派遣する。さらに、中学校・義務教育学校(後期課程)には、生徒4人に対し1人の外国人講師を充て、オンラインによる英会話(中1・義7年生4回、中2・義8年生6回、中3・義9年生4回)を実施する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	99,565 千円	98,815 千円	98,181 千円
うち、一般財源	97,628 千円	97,205 千円	96,971 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
ALT派遣時間数	時間	20,298.75	20,557.00	20,397.50		
オンライン英会話の全体実施回数	回	876	866	864		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
英語活動充実度	点	4.2	4.4	4.3	令和8年度	5
ALTとの授業交流で楽しんでいる児童生徒の割合	%	93.5	96.5	96.0	令和8年度	80

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 市内の学校園にALTを派遣したり、中学校・義務教育学校(後期課程)においてオンラインによる英会話を実施したりすることで、英語を通じたコミュニケーション能力の育成に取り組んできた。これらの取組により、外部検定試験では、話すことの領域で一定の成果が見られた。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	英語活動の充実度やALTとの授業を楽しんでいる児童生徒の割合は、高い数値を保っている。英語でコミュニケーションを図ろうとする態度は高まっており、使える英語力の育成に資する取組となっている。また、1人1台端末を活用したオンライン英会話を行うことで、生徒一人一人が生きた英語に触れる機会を確保し、積極的にコミュニケーションを図り、「話す・聞く」力の育成と、さらに「読む・書く」力の育成へと取組を進めていく必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	学校園連携ユニット推進事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	学校教育課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成21年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	05教育環境の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	①市内の認定こども園・幼稚園・保育所(公立法人問わず)ならびに市立の学校に通う幼児・児童・生徒 ②市立の学校園教職員	①25,776 ②1,543 (R6. 5. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	就学前から継続してこどもの連続した学びと育ちを支援することで、小1プロブレムや中1ギャップの緩和を図る。また、各中学校区のこどもの実態に応じた特色ある取組を実施することで、地域総がかり教育の推進を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	中学校区を一つの単位(ユニット)として、その地域の学校園が相互に連携し、家庭、地域とも連携を図りながらこどもの連続した学びや育ちを支援する。校種を超えた取組として、幼児が児童と交流したり、生徒が幼児や児童と交流したりする。また、学校園支援ボランティアの参画により、教育活動を充実させる。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	2,343 千円	2,519 千円	2,296 千円
うち、一般財源	1,438 千円	1,855 千円	1,755 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
地域コーディネーター数	人	20	20	20		
学校園支援ボランティア数	人	2,526	2,365	2,028		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
特色ある取組の系統性を意識できた割合	%	100	100	100	令和8年度	100
小1プロブレムや中1ギャップの緩和した割合	%	100	100	100	令和8年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 各ユニットにおける様々な教育課題を解決していくため、既存の取組の改善と見直しを図った。また、こどもを中心にした交流活動と校種間連携の充実を図った。
--------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	小1プロブレムや中1ギャップの緩和を図るため、各ユニットのこどもの実態に応じた取組を推進することは、必要不可欠なことである。また、こどもの連続した学びと育ちを支える学校園連携ユニットの取組、こどもが主体となる交流活動は、今後も必要である。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	地域クラブ活動推進事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	学校教育課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和4年度	—	⑥市施策事業(臨時)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	05教育環境の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	①市立の中学校・義務教育学校(後期課程)に通う生徒 ②市立の中学校・義務教育学校(後期課程)の教職員	①6,914 ②476 (R6. 5. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	将来にわたって子どもたちが主体的に選択し、多様な活動に参加できるよう新たなスポーツ・文化芸術環境を創るとともに、部活動の地域展開を進める。また、教職員の働き方改革を図り、子どもたちと地域人材等が、ともに活動する地域クラブ活動を新たに開始する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	地域人材等を活用した試行プランを実施し、検証を進めるとともに、今後の新たなスポーツ・文化芸術活動のあり方についてまとめた方針を策定する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	721 千円	1,620 千円	3,807 千円
うち、一般財源	721 千円	720 千円	1,476 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
地域移行試行プラン数	プラン	2	4	7		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
試行プランを通して移行後の活動に魅力を感じている生徒の割合	%	78.3	94	80	令和8年度	90
地域クラブ活動(試行プラン含む)への生徒の参加率	%	—	2	6.8	令和11年度	65

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 令和4年度から取り組んでいる試行プランをさらに拡充し、新たな種目や活動の実施形態について試行した。また、関係者による協議を行い、部活動の地域展開に向けた本市の方針として、「加古川市における部活動地域展開に関する考え方」を策定した。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	部活動の地域展開の実現に向け、魅力ある新たなスポーツ・文化芸術環境の構築に向けて取り組むことや教職員の働き方改革を進めることは大変重要である。本市の方針に基づき、本事業を継続・拡大しながら取組を進めていく必要がある。
今後の展開	■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	地域とともにある学校づくり推進事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	学校教育課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成30年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	05教育環境の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	①市立の学校に通う児童生徒ならびに教職員 ②学校運営協議会を設置する幼稚園児ならびに教職員	①21,006 ②226 (R6. 5. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	学校園・家庭・地域がめざすこども像を共有し、その実現に向けて協働するコミュニティ・スクールとしての取組を充実させ、地域とともにある学校園づくりを推進する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	各学校園において地域とともにある学校園づくりを進めるとともに、教職員や保護者、地域住民等に学校運営協議会の意義や魅力等を発信する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	2,577 千円	2,663 千円	2,812 千円
うち、一般財源	2,577 千円	2,663 千円	2,812 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
学校運営協議会設置校数	校数	46	46	44		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
学校運営協議会により、教育活動の改善に取り組んだ学校園の割合	%	100	100	100	令和8年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 市内全ての学校及び学校運営協議会を設置する幼稚園へ支援を行うとともに、学校運営協議会の意義や魅力、具体的な取組等をリーフレットやホームページで発信し、周知に努めた。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	地域住民が学校園運営に参画する本事業は、すべてのこどもたちが自分らしく安心して過ごせる学校園・家庭・地域の構築に向けて、大変重要な事業である。地域の特色に応じた学校園運営に向け、さらなる充実が必要で、引き続き「地域総がかりの教育」を推進する。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	「心の絆を育む」ハートフル推進事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	学校教育課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成25年度	—	⑤市施策事業(経常)	   	
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	05教育環境の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市立の学校に通う児童生徒	19,665 (R6. 5. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	望ましい人間関係、居場所、集団づくりなど、児童生徒の心の絆を深める。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	「心の絆宣言」をもとに、児童会・生徒会・学園会を中心にした自主的・主体的な心の絆を深める活動を行い、児童生徒の自己肯定感を育む。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	802 千円	955 千円	753 千円
うち、一般財源	802 千円	955 千円	753 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
「心の絆宣言」5項目全て実施学校数	校	40	40	39		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
自分にはよいところがある、どちらかといえばあると思う児童生徒数の割合	%	小:83.3 中:81.2	小:88.0 中:80.2	小:85.6 中:84.5	令和8年度	85
人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合	%	小:81.2 中:76.1	小:79.7 中:73.6	小:74.8 中:72.4	令和8年度	80

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 児童会・生徒会・学園会担当者会、生徒会・学園会代表者ミーティングを実施するとともに、各校において「心の絆宣言」に基づいた取組を行った。また、加古川教育フォーラム等を通じて、児童会・生徒会・学園会が工夫して取り組んだ活動内容を広く発信し、情報共有を行った。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	令和5年度より「いじめ防止啓発事業」と統合し、より発展的な形として、「『心の絆を育む』ハートフル推進事業」の取組を進めており、児童会・生徒会・学園会を中心とした活動がさらに充実している。また、いじめや不登校など今日的な教育課題に対して、児童生徒が課題解決に向けて取り組むことは、主体的な学びと成長に大きく寄与している。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	研修事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	学校教育課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	03義務教育の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市立の学校教職員	1,341 (R6.5.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	学習指導要領に対応した実践的指導力やICT活用指導力の向上をめざし、教職員の資質・指導力の向上を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	各種研修講座、研修会、教科・教科外研究会を開催する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	805 千円	1,431 千円	941 千円
うち、一般財源	805 千円	1,431 千円	941 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
研修等実施回数	回	43	49	37		
参加延べ人数	人	1,760	1,930	1,843		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
研修を有効であったと考える参加者の割合	%	96	97	97	令和8年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	新たな教育課題に対応した研究、とりわけ、ICTを活用した授業づくり、協同的探究学習についての研修を実施した。教職員が研修に参加しやすい環境を整え、それぞれのニーズに応じた研修を実施することができた。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、探究的な学びの実現に向け、教職員の実践的指導力やICT活用指導力など、資質・指導力の向上のため、研修事業を継続して実施する必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	GIGAスクール運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	学校教育課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和3年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	_01心豊かに暮らせるまち	政策	_01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	05教育環境の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市立の学校に通う児童生徒ならびに教職員	21,006 (R6. 5. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	学習指導要領で示されている主体的・対話的で深い学びと、GIGAスクール構想に則した個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、ICT環境を整備する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	全児童生徒に対し、1人1台端末の貸与及び管理を行う。また、高速大容量の通信ネットワークの整備及び管理運営を行う。さらに、個別最適な学びと協働的な学びに有効活用できるよう、学習コンテンツの利用を推進する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	301,269 千円	227,371 千円	203,706 千円
うち、一般財源	175,612 千円	221,885 千円	150,049 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
端末利用率	%	56	56	57		
十分な通信環境の学校	校	38	41	39		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
ICTを有効に授業に活用できる教員の割合	%	84	86	83	令和8年	100
端末を使用した意見共有授業ができる教員の割合	%	71	72	73	令和8年	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 整備済みの1人1台端末や電子黒板機能付き大型モニター、充実した通信環境の中で児童生徒の学びの充実が図れた。
--------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	地域BWAに加え、普通教室への光回線の敷設を進め、「いつでも」「どこでも」端末が使用できる環境整備を完了した。今後も引き続き、快適な通信環境と1人1台端末を活用し、児童生徒の学びの充実を図る。また、授業支援アプリを有効活用し、個別最適な学びと協働的な学びを推進する。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	特別支援教育推進事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	教育支援課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)	    	
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	04特別支援教育の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	肢体不自由や自閉症・情緒障がい、知的障がい等のあるこども	713 (R6.4.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	加古川養護学校や特別支援学級、通常学級在籍の障がいのあるこどもたちの教育的支援を行い、特別支援教育の推進を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	補助指導員の配置、特別支援教育研修会の開催、学校行事や学習活動時の補助、心身障がい児(者)合同行事を補助する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	41,919 千円	45,060 千円	68,829 千円
うち、一般財源	41,919 千円	45,060 千円	68,829 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
補助指導員配置人数	人	28	28	33		
介助が必要な児童生徒在籍校への補助指導員配置割合	%	100	100	100		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
補助指導員配置学校満足度	%	100	100	100	令和8年度	100
加古川養護学校における支援環境の充実の達成度	%	100	100	100	令和8年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 補助指導員の配置により、介助等の必要な児童生徒の安全面の確保や教育の場が保障されるようになってきている。
--------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	インクルーシブ教育の理念により、支援を要する児童生徒が一般校に在籍するケースが増えている。令和6年度は補助指導員を23校33名配置した。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	特別支援教育児童生徒サポート事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	教育支援課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs				
平成19年度	—	⑤市施策事業(経常)					
総合計画	基本目標	_01心豊かに暮らせるまち			政策	_01子どもの健やかな成長を支援する	
	施策	04特別支援教育の充実					

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	ADHD(注意欠陥・多動性障害)等により学習面や行動面で著しく不安定な児童生徒やその児童生徒が在籍する学級	51 (R. 4. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	特別な教育的支援が必要な児童生徒の心身の安定を図り、教育活動が円滑に行えるようにする。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	スクールアシスタントを配置し、特別に支援が必要な対象児童生徒、および対象児童生徒が在籍する学級に対し、教育活動が円滑に行えるようにサポートを行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	116,920 千円	120,505 千円	146,367 千円
うち、一般財源	116,920 千円	120,505 千円	146,367 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
スクールアシスタント配置者数	人	51	51	51		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
教育活動が保障できた割合	%	99.3	97.1	95.7	令和8年度	100
危険防止に効果があったと感じた学校の割合	%	97.9	96.4	95.7	令和8年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	令和3年度までは22校で2名、6校で1名ずつ常時配置を行ってきたが、児童生徒の実態が多様化してきていることから、令和4年度より1名増員し51名配置した。スクールアシスタントの配置によって、児童生徒の学習意欲の向上が見られるなど大きな効果が見られた。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点のもとに、各部局において総合的に判断した評価	令和5年度国の調査で、通常学級において発達障害の疑いのある児童生徒の割合は8.8%であり、平成24年度調査時の6.4%より増加している。また、共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システム構築のため、通常学級においても特別な支援の充実を図ることがより必要となると考えられる。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	いじめ問題対策推進事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	教育支援課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和2年度	—	⑥市施策事業(臨時)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	01子どもの健やかな成長を支援する
	施策	05教育環境の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	児童・生徒	19,665 (R6. 5. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	加古川市いじめ防止基本方針及び加古川市いじめ防止対策計画に基づき、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に取組み、児童生徒が安心して学校生活を過ごせるよう対応する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	計画に基づき実施する学校及び教育委員会の取組の状況を検証する。また、いじめ問題に対する相談を受け、相談者に適切なアドバイスを行うとともに、当該校に対し、問題解消及び軽減が図れるよう支援する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	449 千円	287 千円	130 千円
うち、一般財源	449 千円	287 千円	130 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
いじめ認知件数	件	1,025	904	794		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
いじめ認知後の対応割合	%	100	100	100	令和7年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 令和5年度のいじめ防止対策の取組状況を検証し令和6年度の展開に繋げた。また、令和6年度より、第三者調査員及び第三者委員会を事業化することで、早期に対応できる体制を整備するとともに、公平性中立性の担保に努めた。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	学校だけでは対応が困難ないじめ問題に対して、専門的な知見からの意見を活かすことで、事案の重度化を防止することができており、今後も学校からの本事業へのニーズは高いと考えられる。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	スクールサポートチーム活用事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	教育支援課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成30年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	_01心豊かに暮らせるまち		政策
	施策	05教育環境の充実		_01子どもの健やかな成長を支援する

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	幼児・児童・生徒	20,176 (R6. 5.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	学校が抱える諸課題の未然防止、早期発見・早期対応に向けた支援を行う。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	教育委員会内に5つの専門部門(法律・福祉・心理・教育・警察)で構成するスクールサポートチームを設置し、チーム員の専門性を活かした助言等を通して、チーム学校をサポートする。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	7,633 千円	7,371 千円	12,233 千円
うち、一般財源	7,633 千円	7,371 千円	12,233 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
学校からの要請件数	件	108	162	171		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
学校からの要請への対応率	%	100	100	100	令和7年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 学校が抱える様々な課題に応じて、5部門の専門的な知見から、連携して対応している。課題を抱える児童生徒及びその保護者への早期対応に取り組むことができた。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	学校だけでは対応が困難な諸問題に対して、学校からの要請に応じ迅速な対応が図れている。専門的な知見からの意見を活かすことで、事態の複雑化を未然に防止することができており、今後も学校からの本事業へのニーズは高いと考えられる。
今後の展開	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	メンタルサポート事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	教育支援課

【基本情報】

事業開始年度		完了(予定)年度		事業区分	事務事業に関連の深いSDGs			
令和4年度		—		⑥市施策事業(臨時)				
総合計画	基本目標		_01心豊かに暮らせるまち			政策		01子どもの健やかな成長を支援する
	施策		05教育環境の充実					

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	児童	12,716 (R6. 5. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	学校や教室に行きづらい児童の居場所を作るとともに、家庭訪問等を通して児童・保護者と教職員との橋渡しの存在として支援することで、対象児童の心の安定と学校(学級)復帰を促す。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	小学校9校に各1名メンタルサポーターを配置して、学級担任等との家庭訪問や校内サポートルーム登校児童に対する学習指導の補助、不登校児童の学校復帰の支援、相談活動の補助、関係機関との情報交換や連携、不登校対策に係る啓発活動や研修会出席など、多面的に関わる。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	6,749 千円	6,630 千円	26,443 千円
うち、一般財源	6,749 千円	6,630 千円	15,418 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
校内サポートルーム利用者数	人	1,318	2,033	4,457		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
不登校を改善した延べ人数	人	345	339	995	令和7年度	1,500

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 小学校メンタルサポーターの配置と環境面の整備を進めたことにより、校内サポートルームの利用が増加した。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	各学校において、メンタルサポーターの果たす役割は重要となっている。家庭訪問や教育相談、学習指導の補助等を通して児童や保護者と教職員との橋渡しの存在として大切な職務を果たしている。不登校等にある児童が急増する中、今後も計画的に配置校を増やしていくと同時に、環境面の整備についても進めていく。
今後の展開	■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	不登校児童生徒支援事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	教育支援課

【基本情報】

事業開始年度		完了(予定)年度		事業区分	事務事業に関連の深いSDGs			
令和5年度		—		⑤市施策事業(経常)				
総合計画	基本目標		_01心豊かに暮らせるまち			政策		01子どもの健やかな成長を支援する
	施策		05教育環境の充実					

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	児童・生徒	19,665 (R6. 5. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	心理的・情緒的要因等により不登校状態にある児童生徒を支援するため、在籍校と連携を図りながら、一人ひとりの状況に合わせた学習指導や体験活動を提供し、社会的な自立心の育成を目指す。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	「わかば教室」及び「こどもの交流すぺーす『わかば』」や小集団活動「アタック・ゴー」、体験活動「ピア・スペース」において、個のニーズに応じた自立支援及び社会的自立を目指した組織的な支援を行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	— 千円	4,507 千円	9,552 千円
うち、一般財源	— 千円	4,507 千円	9,552 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
「わかば教室」等の 居場所の利用実人数	人	—	113	114		
「アタック・ゴー」等の 活動参加者数	人	—	157	213		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
「わかば教室」 利用者満足度	5件法	—	4.0	4.0	令和7年度	4.0
「アタック・ゴー」等の 参加者満足度	5件法	—	4.5	4.4	令和7年度	4.5

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果及び令和6年度取組事項	■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 「こどもの交流すぺーす『わかば』」を1箇所増設し、市内5箇所(少年自然の家及び4公民館)で開設した。
----------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	登校しづらい児童生徒へのニーズに対応するため、学習支援型と体験活動型の2つの異なるコンセプトで展開した。学習支援型には中学生、体験活動型には小学生の参加が多くみられた。今後は、より過ごしやすい居場所づくりのための環境整備と学びの場の確保を行う。
今後の展開	■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	青少年健全育成事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	教育支援課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)	   	
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	02地域における教育・学習環境を整備する
	施策	02青少年の健全育成		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	幼児・児童・生徒	20,163 (R6. 5. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	学校・家庭・地域社会・関係機関が連携し、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	各中学校区で補導活動や「こどもを守る110番の家」の普及啓発活動を実施している。 全市大会(青少年の健全育成を考えるつどい)を開催した。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	1,660 千円	3,279 千円	1,924 千円
うち、一般財源	1,660 千円	3,279 千円	1,924 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
全市大会(青少年の健全育成を考えるつどい)の参加人数	人	233	346	284		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
こどもを守る110番の家協力者数	件	1,210	1,213	1,195	令和8年度	1,200

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 青少年の健全育成を考えるつどいを開催し、関係機関及び一般市民が一堂に会し、こどもへの理解・関心を高め、新たな知識の習得及び住みよいまちづくりへの意識の高揚に繋げることができた。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点のもとに、各部局において総合的に判断した評価	社会情勢に伴い、地域の人間関係の希薄化が進むなか、学校・家庭・地域社会・関係機関が連携し、地域ぐるみの青少年の健全育成に繋がっている。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	家庭教育支援相談事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	教育支援課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs			
平成14年度	—	⑤市施策事業(経常)				
総合計画	基本目標	_01心豊かに暮らせるまち		政策	_02地域における教育・学習環境を整備する	
	施策	02青少年の健全育成				

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	幼児・児童・生徒	20,176 (R6. 5. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	多種多様で複雑化する教育問題への相談に対して、臨床心理士や社会福祉士等の専門家が対応することで、対象者の生活意欲の向上、問題の解消及び軽減を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	電話・来所・訪問等により、不登校、いじめ、学習、進路、発達、苦情・要望等教育に関する相談を受け、適切な指導助言を行うとともに問題解消及び軽減が図られるよう支援を行う。また、関係機関との連携を図る。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	18,574 千円	18,784 千円	21,174 千円
うち、一般財源	18,574 千円	18,784 千円	21,174 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
面接相談対応回数	回	1,730	1,585	1,636		
訪問相談対応回数	回	101	183	208		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
教育相談終了割合	%	74	67	60.5	令和11年度	80
教育相談終了件数	件数	170	195	405	令和7年度	410

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 不登校や心身の健康に関する継続相談が増加傾向にあることから、引き続き事業を維持。令和6年度から、教育相談センターの組織改変に伴い、相談事業を拡充した。課の機構改革に伴い、教育相談終了割合の算出方法を見直した。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	相談件数の増加から、市民のニーズは高い状況であり、社会情勢からも多種多様な教育問題への相談対応は、青少年の健全な育成を図るためにも充実が求められる事業である。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了